

## P-003

### 保育所等に通園する医療的ケア児への感染対策について ～ COVID-19 による看護職の対応～

渡邊 久美<sup>1</sup>、日野 徳子<sup>2</sup>、中垣 紀子<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 和洋女子大学 看護学部

<sup>2</sup> 杏林大学保健学部

<sup>3</sup> 医療創生大学看護学部

#### 【目的】

保育所に勤務する看護職を対象に医療的ケア児への COVID-19 感染症対策の現状についてインタビューを行い、保育所で行っている感染症対策について考察した。

#### 【方法】

医療的ケア児の受け入れを行っている東京都内の認可保育所5施設に勤務する看護職へ2022年12月～2023年2月に半構造的面接を行った。質問内容は、保育所で行っている感染症対策、COVID-19に対する対策や工夫である。質的記述的研究。施設長と保育所の看護職に研究目的、方法、倫理的配慮を説明し同意を得て行った。なお、本研究は研究者が所属する大学の倫理審査委員会の承認を得た。

#### 【結果】

看護職が行っていた感染症対策は、保育士との協働、他児との関わりへの配慮、医療的ケア児の保護者対応の3つに分類できた。保育士との協働では、保育士が抱く疾患や状態に対する不安や疑問をぬぐうために、頻回の説明や医療的ケア児の母親から話を聞く機会を作っていた。日常の対策としては、保育室内やおもちゃの消毒回数増加だけでなく、使用する消毒薬の検討・変更も行っていった。さらに保育者自身の健康管理についても注意を促し、媒体にならないようにしていた。他児と同室で過ごす場合は、空気清浄機の導入や換気窓に近い風上に医療的ケア児を配置するなど施設の設定や医療的ケア児の環境も整備していた。保育所ではその性質上、医療的ケア児専用室での保育からクラスの集団保育への移行を重視している保育所や看護職も多く、他の園児との距離の取り方に工夫があった。保護者への対応は体調チェック項目の具体的な指示、保育所での COVID-19 を含む感染症の流行に対する情報を一早く伝えることで連携を取っていた。保育所内で感染者が出たときは、無理な登園をせずに自宅待機をするなどの対策もとっていた。

#### 【考察】

保育所で医療的ケア児への COVID-19 感染症対策の現状では、看護職は医療的ケア児本人への体調管理の徹底だけでなく、医療的ケア児をとりまく保育士との連携、保育所の環境整備、保護者の身近な相談者として日常的な支援を行っていたことから医療的ケア児の生活を包括した関わりをしている様子がうかがえた。医療的ケア児は基礎疾患を有しており、COVID-19 に感染した場合、重症化しやすいことから、看護職、保育士、保護者が連携をとり、よりきめ細かな感染防止対策が必要であると考えられる。

## P-004

### オキシトシンと乳児の母親の育児ストレス度、及び紙おむつの触感評価値との関連性解析

坂本 考司<sup>1</sup>、福田 優子<sup>2</sup>、山口 創<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 花王株式会社 感覚科学研究所

<sup>2</sup> 花王株式会社 サニタリー研究所

<sup>3</sup> 桜美林大学 リベラルアーツ学群

#### 【目的】

核家族化や、コロナ禍による近隣者との関係希薄化等により、養育者は育児ストレスが蓄積しやすい環境にある。そのため、客観的指標に基づくケアの提案が期待される。今回、乳児の母親を対象に、育児ストレス度合いと、養育者と子どもの愛着形成に関与するホルモンのオキシトシン、及び代表的なストレスホルモンのコルチゾールとの関連性を解析した。また、これまでの検討で成人女性が手の平で布生地に触れた時のなめらかさ、及び、やわらかさ評価値と、触れた前後のオキシトシンレベル変化率が正相関を示すことを明らかにしているため、各母親が評価した現在使用中の紙おむつの触感評価値と、母親、及び、その乳児のオキシトシン、コルチゾールレベルとの関連性を解析した。

#### 【方法】

27組の母親と、その乳児(11ヶ月齢未満)を対象に試験を実施した。母親と乳児のオキシトシン、コルチゾールレベルは唾液から定量した。母親の育児ストレス度は PSI 育児ストレスインデックスで評価した。また測定1ヶ月前から、日常使用する紙おむつの銘柄の変更を禁止し、使用中の紙おむつの触感(なめらかさ、やわらかさ、あたたかさ)を、それぞれ10 cm VASで評価した。本研究は花王(株)のヒト試験研究倫理委員会の承認の下で実施した。

#### 【結果】

母親の育児ストレス(親の側面)のスコアとオキシトシンレベルとの関連性を解析した結果、有意な負相関が認められた。また各母親が評価した使用中の紙おむつのなめらかさ、やわらかさ評価値の各中央値で、高、低評価群に分けて母親のオキシトシンレベルを比較した結果、各高評価群で有意に高かった。さらに乳児と、その母親のオキシトシンレベルは、既報通り有意な正相関を示したため、母親のオキシトシンレベルを制御変数とした偏相関分析を実施した結果、紙おむつのなめらかさ評価値と乳児のオキシトシンレベルが正相関傾向を示した。一方でコルチゾールでは、各項目で有意な相関、差は認められなかった。

#### 【考察】

育児ストレス度が高い乳児の母親はオキシトシンレベルが低いこと、そして母親の触感評価値が高い紙おむつを使用中の母親、及び、その乳児のオキシトシンレベルは高いことが示唆された。このことから触感に優れた紙おむつ使用が、母子のオキシトシンレベルの上昇を促す手段の一つとなり、両者間の愛着形成を促進すること、そして母親の育児ストレスを軽減する一助となる可能性が示唆された。